

原稿応募規程

- 内 容 『豊山学報』の伝統を継承する学術的な論文、あるいは文献資料校訂(翻刻を含む)・翻訳。
- 応募資格 大正大学豊山学会所属の教員。  
真言宗豊山派総合研究所所属の者(養成所研修員を除く)。  
大正大学総合佛教研究所所属の真言宗豊山派教師。  
真言宗豊山派総合研究院院長または同研究所長の推薦を受けた者。
- 原稿枚数 原稿用紙五十枚以内(資料・図表等を含む)。
- 入 稿 編集委員会による査読の結果、許可を得た者に限って掲載を認める。

編集後記

令和二年に入り突如新型コロナウイルスの感染が蔓延し、宗務所の閉鎖等により編集作業が大幅に遅滞してしまつたが、高橋尚夫、田中文雄、加藤精純(純一郎)、名取玄喜の四先生より玉稿をいただき、何とか『豊山学報』第六十三号の発行に漕ぎ着けることができた。

高橋尚夫先生には、引き続き『金剛頂経』和訳(四)をご寄稿いただいた。前回は三種三摩地の第二・最勝曼荼羅王の三摩地の前半である金剛界三十七尊中の十六大菩薩の出生段までであったが、今回は残りの四波羅蜜・内外の

四供養・四摂の各菩薩の出生段と、第三・最勝羯磨王の三摩地について、『金剛頂経』本文の梵文和訳と、対応するアーナンダガルバとシャークヤミトラの註釈の主要部分の藏文和訳を、ご提示いただいた。また、本文に先立つ「はしがき」においては、金剛薩埵を始めとする十六大菩薩の出生段について、シャークヤミトラの分類に従って菩薩ごとに並べ替えた『金剛頂経』本文の梵文和訳が提示されている。前回の十六大菩薩の出生の対照表と照らし合わせると、十六大菩薩の出生の様相が一目瞭然となる。更に論文末の訳注には、アーナンダガルバ撰の『サルヴァヴァジュローダヤー』より、三種三摩地が説かれる部分の梵文原文と和訳が掲載されている。真言宗の正所依の經典である『金剛頂経』の基本情報を網羅した壮大な研究が、無事完成することを望んで止まない。

田中文雄先生は、これまでに孟蘭盆と施餓鬼に関する論考を多数発表されているが、今回はそれらの集大成ともいえる論文を最新の研究成果を取り入れて寄稿していただいた。まず『仏説孟蘭盆経』とその注釈書類を用いて、中国では孟蘭盆が供物を入れる器・盆として一貫して認識されていたことを示されている。また種々の歳時記において、唐末から五代には七月十五日の中元に供物が木や竹で作られた蘭盆という器で供えられ、宋以降には紙銭などを入れた孟蘭盆が先祖を祀るために燃やされたこと、祖霊が帰宅して接待される事例等が見られることを明かされている。さらに施餓鬼関連經典や道教經典を駆使して、中元の先祖供養の習俗に施餓鬼が混同されていた過程とその儀礼の様相を多角的に説明されている。

加藤精純先生は、弘法大師教学における菩提心に関する勝又俊教先生の先行研究を補足検証されている。まず、大師の菩提心観の背景をなす三句の法門の先駆的な要素の一つとして、新たに『華嚴経』「十地品」を挙げることでできるとし、また『華嚴経』が四種心の源流とされていることも改めて指摘されている。弘法大師教学と『華嚴経』の関連に注目した意義ある研究である。『華嚴経』の梵文および漢文の原文についてのご自身の訳・解釈も提示いた

だけると説得力がさらに増したと思われる。次に『遺誠』および『三昧耶戒序』に説かれる「発菩提心戒」等の三昧耶戒の三種の異名に対応すると思われる戒が、『六十華嚴經』に登場していることを示し、最後に『遺誠』の「諸戒十善為本」が『大智度論』に依っていることを明かされている。『遺誠』と弘法大師教学の関連についての加藤先生の検証結果の公開が待たれる。

昨今のインド密教の写本を用いた文献研究の進展には目を見はるものがあるが、名取玄喜先生には、最新のインド密教の梵文写本の精緻な校訂テキストを提供していただいた。このテキストは、所作タントラに属するとされる『ブータダーマラタントラ』を、瑜伽タントラの灌頂儀礼に則って再構成した儀軌であり、その全体の構造はかの『サルヴァヴァジュローダヤー』とほぼ同様であり、『金剛頂經』の研究にも重要な文献である。今回の校訂はテキストの前半部分までではあるが、丁寧な平行句の表示と緻密な校訂の注が付され、最新の研究成果も十分に反映されており、後半部分の公刊と、それに基づいた研究の進展が楽しみである。

最後に、全ての原稿に目を通して頂いた加藤純章総合研究院院長と渡会瑞顕教化センター長をはじめ、コロナウイルス騒動の中でご尽力いただいた教化センターの事務担当の各位と制作担当のノンブル社に、そして何よりも玉稿を頂いた先生方に、心より感謝し厚く御礼申し上げます。

(S. K. 記)

### 『豊山学報』編集委員会

- 委員長 木村 秀明 (宗学研究所所長)  
委員 藤田 祐俊 (宗学研究所常勤研究員)  
石井 祐聖 (事相研究所所長)  
田中 康寛 (事相研究所常勤研究員)  
小林 政彦 (布教研究所所長)  
田中 宥弘 (布教研究所常勤研究員)  
田中文雄 (現代教化研究所所長)  
守 祐順 (現代教化研究所常勤研究員)